

※このニュースは、政務活動費で作っています。
 ニュースや市政のご意見をお聞かせください。

☎354-8257（議会事務局） 内線2823（日本共産党控室）



4月の市議会選挙後初の定例6月議会では、太田のり子、村上さとの両市議は、公約のうち、今議会は主に学校給食問題に絞り、討論を展開しました。

「子育てするなら四日市」と言うなら
学校給食無償化すべき

給食無償化急速な広がり
 どうする四日市市は？

村上市議は、この流れを紹介しながら、四日市市の対応について質しました。

市「食材費保護者負担」と冷淡

村上議員は、公約の第一に学校給食の無償化を掲げて運動してきたことから、初質問の第一にこの問題を取り上げました。

昨年12月に日本共産党の「しんぶん赤旗」が、小中学校とも無償化している自治体

市教育委員会は、令和5年度は物価高騰分の1億円を市が負担しているが、学校給食法で食材費は保護者負担とされており、残りの13億円は保護者負担としていると説明。

千葉県市川市、東京都荒川区、世田谷区はじめ7区など規模の大きい自治体で、次々無償化が行われています。県内でも、志摩市や熊野市、隣のいなべ市も実施しています。

しかし、現行法でも食材費分を自治体が全額補助するのが可能なことは、共産党議員の国会質問でも明らかにされ、無償化を実施する根拠の一つとなっています。



村上さとる市議 太田のり子市議

市議会 日本共産党控室にて



楽しい学校給食風景

村上 無償化は子育て支援の基本、早期に実施を
対 教委 毎年14億円かかり、意義、効果など検討要

村上市議は、無償化されればどの子どもも9年間恩恵を受けることができ、子育て支援に最も有効な施策だと、再度実施を迫りました。

これに対し教育委員会は、「継続的に無償化するには、毎年多額の費用が必要」、「意義、効果、実施期間などの慎重な検討が必要。他の子育て施策と総合的に検討」と、実施に消極的な態度を変えませんでした。

そこで村上市議は「財源に踏み込んで検討したい」と質問を続けました。

裏面に続く



中学校給食はじまったが

アレルギー対応
 小学校並みにしてほしい

中学校給食が4月から始まりました。日本共産党の歴代の市議が、長年要求しやっと実現した施策です。

しかし市は、多くの反対を押し切り一か所の給食センター方式を採用しました。これにより、食物アレルギーを持つ生徒への対応が、小学校に比べて不十分なことがはつきりしてきました。（下表参照）

太田市議は、一般質問でこの問題を指摘。「センター方式でも、もっときめ細かい対応ができるのではないかと改善を迫りました。

全中学校一律除去食では、無理があるのでは

太田市議：給食センターのアレルギー対応専用調理場は、一日100食作成能力があると聞いたが、現在どのような対応で、何食提供されているのか。

教育委員会(以下「教委」)：

食品表示法の特定表示食品のうち給食で使う卵、乳、小麦、エビ、カニの5品目を除去した除去食を、一日当たり平均約20食弱を提供。

裏面に続く

市の小・中学校給食のアレルギー対応比較（太田市議まとめ）

	給食調理方式	アレルギー対応
小学校	自校調理法式	学校ごとに、在校する対象生徒の全てのアレルギー食材を除去した除去食を提供
中学校	給食センター方式 (1か所)	特定原材料のうち、乳、卵、小麦、エビ、カニを全て除去。他のアレルギー食材への対応はできず、含む場合は該当生徒に配食しない。おかず、弁当持参となる。

※市教委に確認したところ、重症化リスクが高く、特に注意が必要な食材を5品目に置いたとのことでした。



教委：この除去食で対応できない副食などは、該当生徒に配食しない。現在94人がアレルギー食の対象となっているが、配食されず4月に弁当、おかずを持参したのは延べ40人。

太田 代替え食も考えるべき

太田市議：代替食での対応を考えるべきでないか。教委：小中学校の給食食材を一括購入しているため、代替食材を別購入するのは困難だ。

太田市議は、川西市の「中学校給食における食物アレルギー対応方針」では、「可能な限り、個々の生徒の状況に応じて対応する」とし、除去食に加え、代替え食も提供している。四日市市と同じセン

ター方式で実施している、と紹介しました。また、中学校給食は始まったばかりで、教職員の業務が増えている。それに対する支援も検討してほしい、と要請しました。

「複雑な思いも・・・」 新中学生の母の声

今年度中学校に入學した子どもには、ナッツ類、果物でアレルギーがあります。小学校のときは、学校で対応していただき、給食を食べることができました。ただ、中学校は特定5品目の除去食しか無く、これらを含むメニュー時には配食されず、代わりのおかずなどを持参します。今までほかの子供さんと一緒のメニューを食べられたのにと複雑な思いです。

川西市の中学校給食アレルギー対応 同市「中学校給におけるアレルギー対応方針」抜粋

除去食または代替食対応食材

特定原材料：乳、卵、小麦、えび、かに
上記に準ずる：さば、いか、ごま、さけ、大豆、牛肉、鶏肉、豚肉

対応例（例示）

- 野菜スープ ▶ 鶏肉除去野菜スープ
- 煮込みハンバーグ ▶ 焼き魚で代替
- 米粉麺うどん ▶ 油揚げ(大豆)除去
- 鶏肉のから揚げ ▶ かわいから揚げ代替
- ビーフカレー ▶ 牛肉抜きカレー

■■太田市議コメント■■

質問後も川西市に電話。「代替食提供で、小学校の時より給食を食べられる子供が増加。保護者から感謝の声が」との報告。川西市もセンター方式、四日市市もやる気次第ではないの？

豊かな市の財源

子育てて応援にもっと使って

表面より続く

自由な財源が日本一多い市が 無償化できないはずない！

村上市議は、議場で左表を示しながら、財政状況に対する市の評価を質しました。財政経営部長は、現在他都市と比べ健全だが、産業活動が縮小すると数十億円の減収となることもある。現在の財政指標だけで楽観はできないなどと、学校給食無償化に

要する14億円の継続的負担には、慎重な判断が必要と強調しました。村上市議は、無償化を



日本一自由な財源多い市の財政 生活支援の新規事業十分可能です

財政力指数 トップ5	
団体名	財政力指数
1 豊田市	1.42
2 四日市市	1.21
3 厚木市	1.20
4 つくば市	1.05
5 岡崎市	1.02

経常収支比率 トップ5	
団体名	経常収支比率
1 四日市市	78.2
2 郡山市	80.3
3 福山市	82.8
4 松本市	82.9
5 豊田市	83.5

※政令市20、中核市62、施行時特例市23 計105市比較（令和3年度決算）

説明
財政力指数：自治体の財政力を示す指数。この指数が大きいと財源に余裕があるとされている。
経常収支比率：自治体の財政構造の弾力性を判断するための指数。この指数が低いほど財政構造に弾力性があるとされており新規の施策ができる。

医療費、18歳まで無料化を！！



政府はこれまで子ども医療費無料化を独自に行っている自治体に対し、補助金を減額する「ペナルティー」を科し無料化を妨げてきました。この「国民健康保険の減額調整措置」を廃止すること、廃止対象は高校生までを想定していることを、政府が発表しました。



市 「全国的な流れ、有効な子育て支援策」との認識示す

ことも未来部長は、「こども医療費助成の年齢拡大は、全国的な流れであり、有効な子育て支援策である。財源や他の施策との優先順位を考慮し、引き続き検討を進めたい」と答弁。村上市議が、この事業の経費は年間約2億円とのことだが、今すぐにも実現できるのではと早期実施を迫りましたが、市の答弁は変わりませんでした。

しかし四日市市は、現在15歳年度末まで無料化にとどまっています。村上市議は一般質問で、四日市市もこの流れに今度こそ遅れることなく、医療費助成を高校卒業の18歳年度末までに拡大するよう求めました。

